

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 7 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------------|--|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 10 (6) | 家族会が出来たのを機に家族との連携を深め、火家族の希望も聞きとり、また一方事業所の提供する介護サービスの理解協力を深める様期待したい。 | ご利用者・ご家族の意見や希望を聞き取る機会をもち、提供しているサービス・生活の様子を確実に伝えられるようにする。 | 意見を聴く機会や現状報告の場は、家族の訪問時を基本とし、年に1～2回の「家族会」の開催にて、家族同士の意見交換もして頂く。その中で、意向をお聞きしたり事業所全体としての報告も兼ねて行う。実際は全体の様子だけでなく、利用者がどうしているかの細かな内容報告を家族が望まれている為、個人新聞を作成し具体的な報告を行う事。 | 12ヶ月 |
| 2 | 35 (13) | 体力の弱い利用者の安全な避難には、多くの人が必要であるが、応援の人たちが冷静に救援活動を行うには先に役割を明確にしておくことが望まれるので今後考えられたい。 | グループホームのみではなく、小規模多機能ホーム、他館内職員全体で取り組む事とする。日中・夜間帯に関わらず、大規模災害時などの緊急時は地域住民の方と連携が図れる様、緊急連絡網、体制提携書類を作成する。 | 防災避難訓練では、大規模災害時に備えた訓練/昼間・夜間の避難訓練を実施し、ご利用者、ご家族、地域住民の参加を促す。今後も日頃から運営推進会議、町会の活動を通じて地域との連携強化を図り、地域住民に向けた救命救急法の勉強会の開催も企画する。体制提携書類の作成をすすめ、役割を明確にする。 | 12ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。